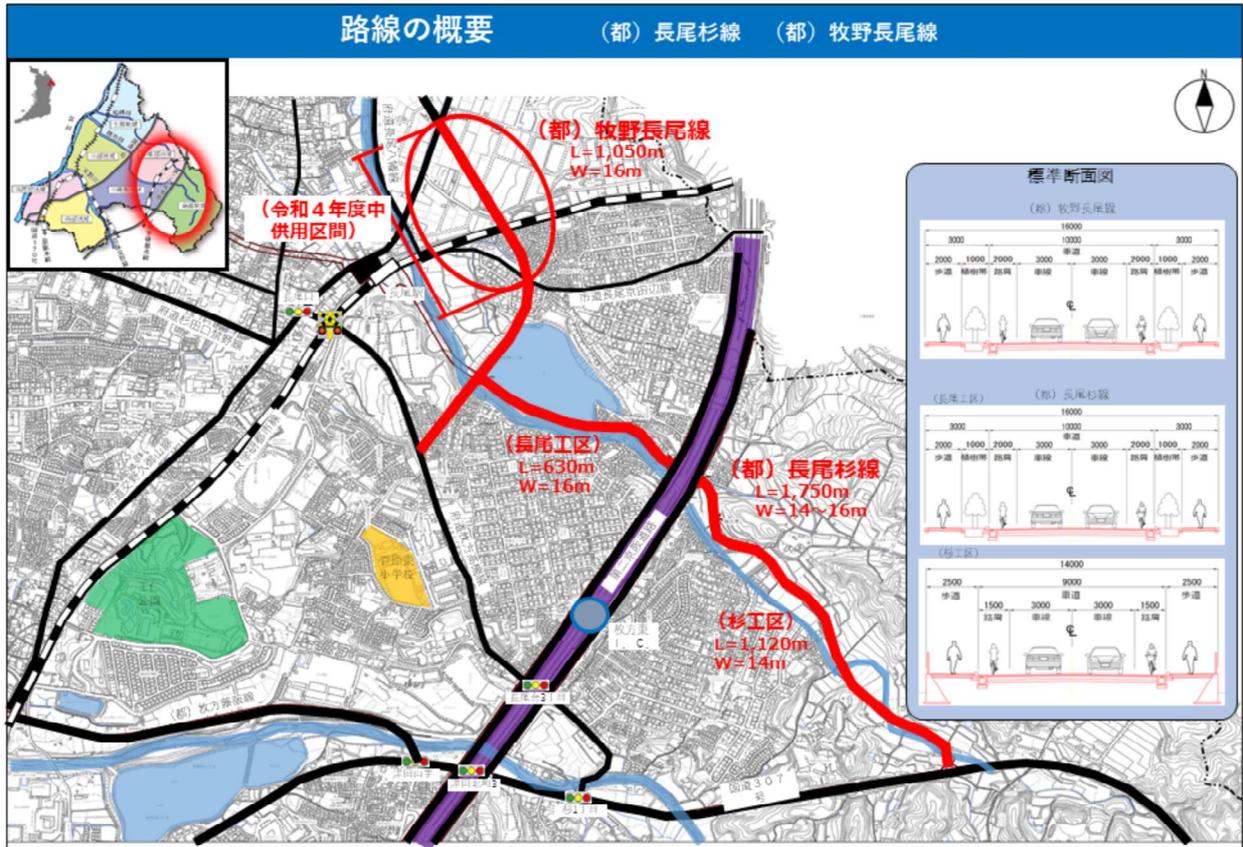


長尾杉線（杉工区）道路整備  
工事進捗説明会

## 次 第

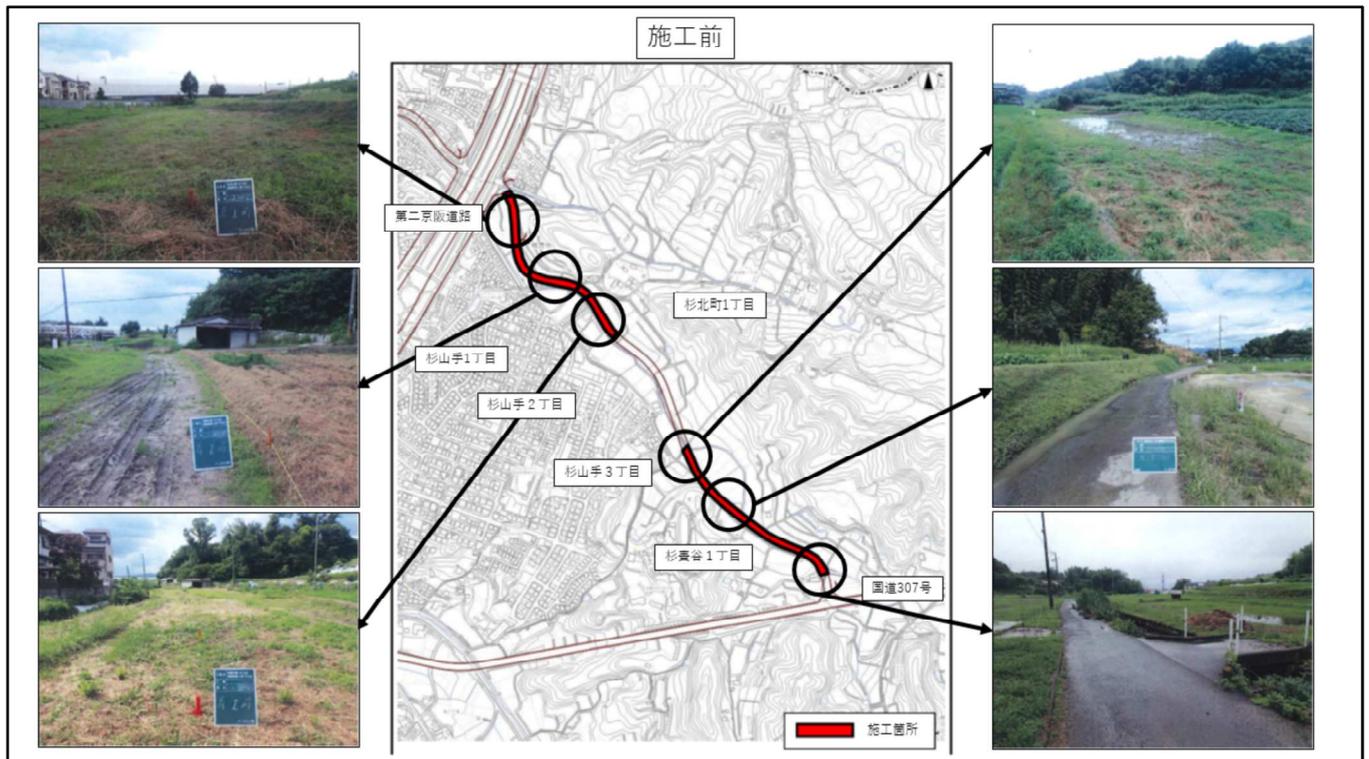
1. 挨拶
2. 進捗状況説明
3. 今後の予定
4. 質疑応答



枚方市の東部地域で整備中の都市計画道路長尾杉線の進捗状況について。

国道307号から貴谷川沿いに第二京阪道路までの杉工区と、第二京阪道路から長尾大池を通り、都市計画道路牧野長尾線までの長尾工区を整備する計画。

現在は早期効果発現の観点から杉工区を先行して整備。



## 杉工区の説明

道路整備工事を着手する前の写真。

左側は第二京阪側工区、右側は国道307号側工区の写真。

道路用地の多くは田畑であり、地権者のみなさまのご協力があって道路整備が進められている。

想定外の事象

湧水



軟弱地盤



実際に工事を進めていくと想定していた以上の事象が発生。  
想定外の事象で代表的なものを説明。

左側の写真は掘削を進めたときに湧水が発生した状況の写真。

右側は掘削した地盤が非常に軟弱となっている状況の写真。  
掘削箇所に立っている作業員はくるぶし以上、足がはまっており、一人では動くことが困難な状況。

このような状況下では、道路構造物を作ろうとすると、構造物の沈下や転倒、  
作業中の作業員に危険がおよんだりする。

## 土質調査



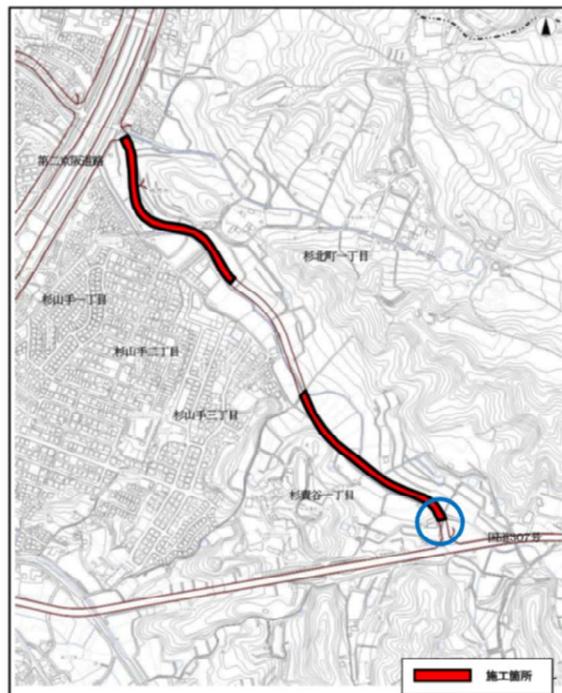
そこで事前に土質調査を行うことが、今後の工程のことを考えると、望ましいとの結論に至り、事前調査を実施。

今回の工事は延長が長い為、たくさんの箇所を調査する必要があり、調査に約1か月程度時間を要した。

上の写真が平板載荷試験、下の写真がサウンディング試験となっております。これらの試験は、しっかりとした硬い地面かどうかを確認するための地盤反力を測ったり、やわらかい箇所ではどの程度硬くすればいいか、地盤改良の深さを決めたりする調査。

このように掘削して初めてわかることがあり、その時々で工法変更を検討していく必要がある。

# 1. 工事現場出入口付近 (国道307号側)



施工箇所や内容ごとの状況説明。

国道307号側の工事出入口付近。

工事現場出入口付近（国道307号側）

令和3年7月



令和3年11月



令和4年1月



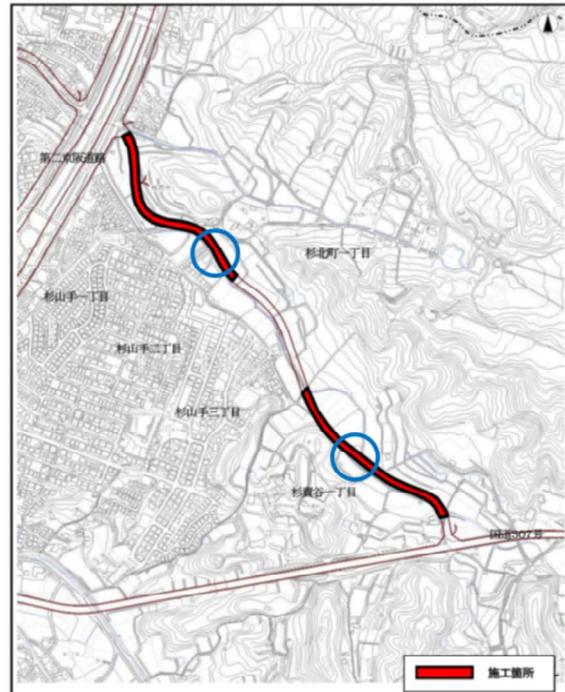
令和4年3月



当初は7月頃の写真。

そこから11月、1月とすすみ、現在の3月。  
この付近は、ボックスカルバートやL型擁壁などの工事を予定。

## 2. 水路の切り回し 施工状況



水路の切り回しについて。

## 水路の切り回し



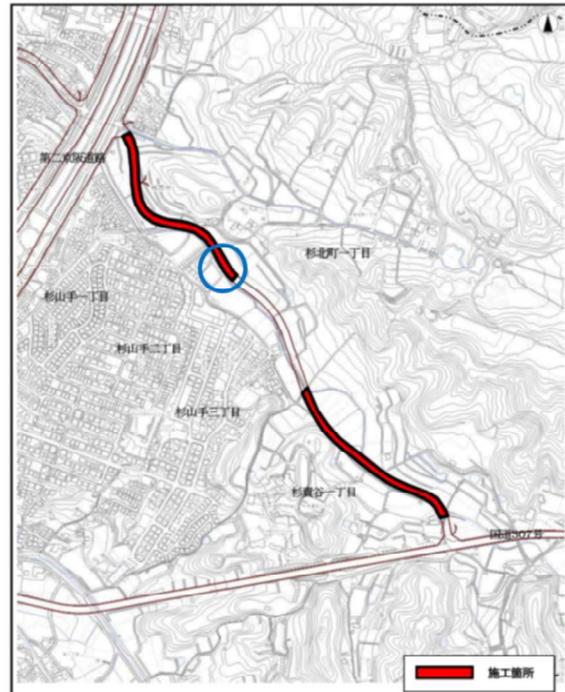
今回の道路整備の計画では、水路の一部を横断したり、並走したりする箇所が多々ある。

水路付近を掘削していくには、水路を切り回す必要がある。

当初は1箇所ごと切り回していく予定でしたが、昨年のお盆の長雨の影響により農作物の収穫が遅れ、渇水期に行う予定であった水路の切り回しの施工も遅れた。

工程を回復するため、施工業者と検討し、2箇所同時施工することで工期短縮を図る。

### 3. L型擁壁施工状況 (第二京阪側工区)



L型擁壁の施工になります。第二京阪側工区の上流側の箇所。

## L型擁壁整備状況



湧水、軟弱地盤が発生しているため、安全に施工を行うため、6 m程度の鋼矢板を設置。

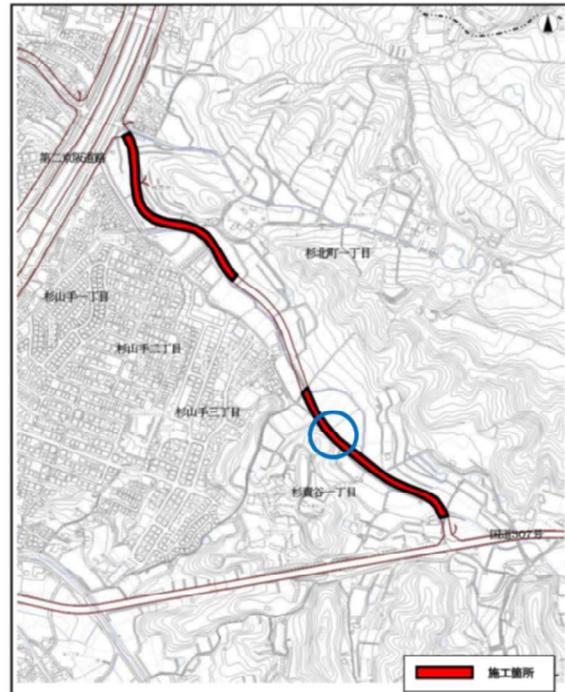
(鋼矢板とは鉄の長い板)

写真は圧入機械で押込んでいる状況の写真。

鋼矢板を設置後は、必要な深さまで掘削。その後、L型擁壁を設置。

L型擁壁は大きいもので高さが4 mを超えるものや重量が10 t近くになる。

#### 4. ブロック積み擁壁 施工状況 (財産区山林部)



ブロック積み擁壁です。国道307側工区の財産区山林部付近。

財産区山林→ブロック積み擁壁



今回の道路整備では、山林部の一部を通過する計画となっている為、重なる箇所はブロック積み擁壁を築造する必要がある。

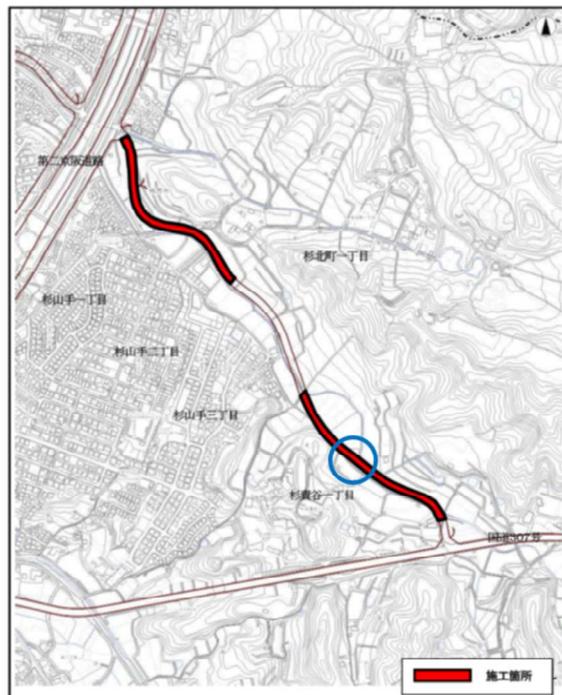
まず、木の伐採や法面の掘削を行う必要がある。

伐採や掘削の方法、範囲について、地権者との調整に時間を要し、約1か月程度遅れが生じた。

また調整後、掘削を進めていく中で、岩盤が出てきました。（写真の白いところが岩盤）

このままでは掘削できないため、施工業者と検討し、施工方法を変更することで掘削を進めている。

5. ボックスカルバート  
施工状況  
(財産区山林付近水路)



国道307号側工区の財産区山林部付近の水路（ボックスカルバート）についてです。

水路→ボックスカルバート



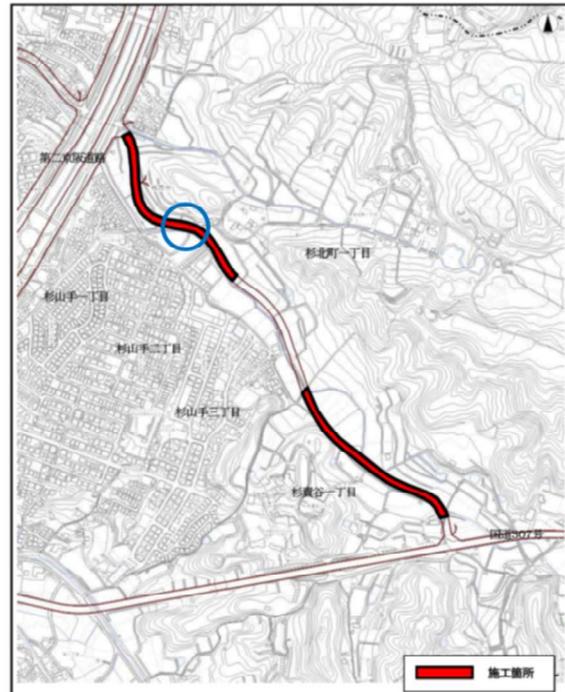
今回の道路整備では、水路の一部を横断する必要がある為、横断箇所の水路をボックスカルバートと呼ばれる四角形のコンクリートの函渠に置き換え。

湧水、軟弱地盤があるため、L型擁壁と同じように鋼矢板を設置しながら、掘削を進める。

掘削完了後、ボックスカルバートを設置するために必要となるコンクリートの基礎地盤を作成。

基礎地盤を作成後、ボックスカルバートを設置。

## 6. 迂回路 すもも団地～杉山手住宅



迂回路になります。場所は第2京阪側工区のすもも団地から杉山手住宅へ抜けていく生活道路。

迂回路の整備（すもも団地から杉山手の住宅街へ）



当初は、すもも団地から長尾東町への迂回を想定しておりました。周辺住民への説明をしていく中で、当初ルートの一部に狭い区間があり、車両通行が困難であるとの意見があった。

安全に通って頂くにはどうすべきか、施工業者と一緒に検討し、通常ルートに近いところに迂回路を設けた。

施工地の一部を通過することになるが、これにより従前の通行と近い形態を確保。

検討、迂回路の整備に時間を要すこととなり、約2ヶ月程度おくれることとなる。

## 次 第

1. 課長挨拶
2. 進捗状況説明
3. 今後の予定
4. 質疑応答

次は今後の予定です。

(都) 長尾杉線 (杉工区) について



長尾杉線、杉工区の予定を説明。

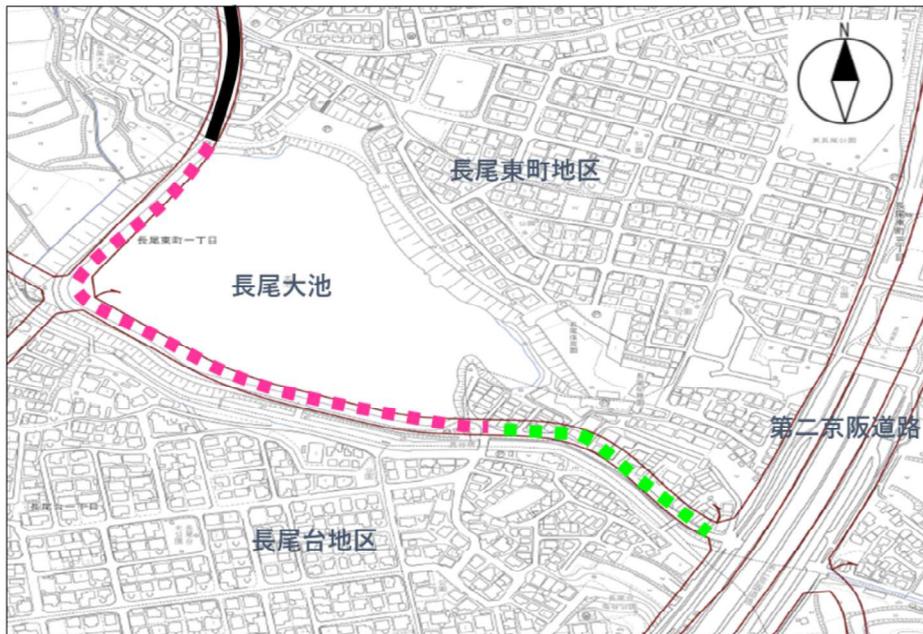
国道307号から約60m、画面黒線部については、令和3年5月末に工事が完了。

現在は、赤線部、国道307号側及び第二京阪側の両側約740mにおいて、令和3年6月25日～令和4年9月30日の完成を目指し工事を実施。

令和4年度は、画面中央 青点線部 約270mと、画面左上 黄色点線部 約150m、及び第二京阪ランプについて令和4年11月頃～令和5年12月頃まで道路築造工事を行う予定。

全区間約1,220mの舗装について令和5年12月頃から令和6年3月末にかけて行う予定。

(都) 長尾杉線 (長尾工区) (都) 牧野長尾線 (7工区) について



長尾工区のスケジュールについて説明。

令和4年10月から、画面左側 ピンク点線部 長尾大池工事について着手する予定。

大池工事終了後、画面右側 緑点線部において 工事を行う予定。